



# しおがまの 活気・元気



公式HP

地元と「アート」を繋げたい

## NPO法人 チルドレンズ・アート・ミュージアムしおがま

2018年に民間団体として結成し、2024年にNPO法人設立。  
2018年から塩竈市杉村惇美術館で「チルドレンズ・アート・ミュージアムしおがま」を開催し、コロナ禍を経て、今年3月に第3回イベントを行った。



▲中学生バンドの演奏をバックに屋外で絵を描く子どもたち



活動の発起人である中西さん

夢中で筆を走らせる子どもたちと、それを見守るお父さんやお母さん……。子どもたちや地域の人々がアートを通じて学んだり表現する参加型アートプロジェクト「チルドレンズ・アート・ミュージアムしおがま(以下チルミュしおがま)」のイベントの発起人となったのが、NPO法人チルドレンズ・アート・ミュージアムしおがま代表の中西博(なかにしひろ)さんです。

中西さんは、震災後に復興事業に尽力してくれた岡山県倉敷市の方々との交流を続けたいと思い、倉敷市の大原美術館から教えを受け、イベントを開催したそうです。

参考にした大原美術館の「チルドレンズ・アート・ミュージアム」は、美術館の全体を会場として、さまざまなワークショップを同時に実施するイベント。塩竈の場合は人づくりや場づくりにおける考え方や震災後の地域社会のあり方などの考えをアートの視点で取り組むことを目指し、地域に根づく芸術文化活動について学び、実践する場として開催しています。メンバーの中では開催できるかという不安を感じる意見もありましたが、大原美術館の方のレクチャーを受け、会議を重ね、みんなで本気で取り組んできたそうです。中西さんは「地域住民やアーティストたちが、課題や目的意識を共有しながら、人や場、文化発信拠点づくりに取り組んでいます。イベントで子どもたちが『帰りたい』と言ってくれた時はうれしかったです」と話します。

2018年、2019年にチルミュしおがまを開催した後、新型コロナウイルス感染症の影響により、同じ形態での開催は自粛せざるを得ない状況になりました。この間も、おうち時間を楽しめる塗り絵やキットを郵送し、できることをできる範囲で続けてきたそうです。3月に行われた第3回では、コロナ禍明け初開催だけでなく、NPO法人を立ち上げて初の開催となりました。来場した皆さんは美術館内を巡りながら、絵を描いたり粘土でお皿を作ったりと、思い思いのアートを楽しんでいました。

今後について「NPO法人を立ち上げ、3月のイベントでこれからの土台作りを行えるように取り組んできました。今後も継続していき、来館したことのない市民の皆さんにもぜひ来てもらいたい」と力強く話してくれました。

チルミュしおがまは近秋にも開催予定。ご興味のある方はぜひご参加ください。

塩竈の魅力は市Instagramを要チェック!

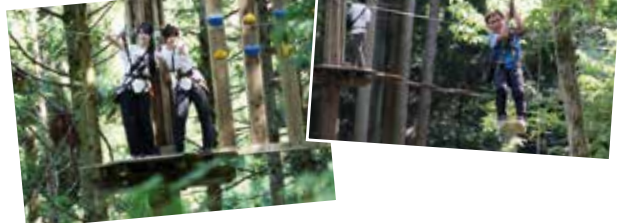


## ゴールデンウィークは塩竈の新緑を楽しもう!

港町・塩竈では、海だけでなく森を楽しめるお出かけスポットも！  
今年のゴールデンウィークは家族や友人と新緑を感じてみませんか？

### フォレストアドベンチャー・塩竈

身体を動かしてリフレッシュ!



### 伊保石公園

緑にかこまれてピクニック!

